

原紙

平成28年度

特定非営利活動法人 自然回復を試みる会・ビオトープ孟子

総会資料

日時 平成29年 6月25日(日) 10:00~12:00
場所 海南市わんぱく公園風の子館(創作工房)

総 会 日 程

- (1) 理事長挨拶
- (2) 議長選出
- (3) 議題

- 1、平成28年度事業報告について
- 2、平成28年度決算報告について
- 3、監査報告について
- 4、平成29年度事業計画について
- 5、平成29年度予算案について
- 6、その他

1、平成28年度事業報告及び決算報告

(1) 法人独自事業

- ・第16回こがねぐも相撲大会INわんぱく公園 平成28年7月10日 17名参加
大会運営：県立向陽中学理科部
- ・七草粥・小豆粥（わんぱく公園にて） 平成28年1月7日 26名参加
- ・チームエナセーブ事業

ダンロップ田植え体験

平成28年6月12日 76名参加

住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成された「チーム エナセーブ未来プロジェクト」の一環として、一般参加者、ダンロップ、日本ユネスコ協会連盟併せて76名が参加され盛大に開催されました。

- ・未来遺産プロジェクト 県立向陽中学理科部

(テーマ) 孟子不動谷の哺乳類調査

(実施内容) 平成28年4月～平成29年2月の間1回/月のスパンで調査を行いました。

平成28年4月～平成28年11月・・・不動谷内で哺乳類の痕跡調査

平成28年12月～平成29年2月・・・向陽中学情報処理室で調査のデータ整理及び、第6回生物多様性フォーラム発表用のPPT作成

(2) 助成事業

I、あいおいニッセイ損保助成

花王みんなの森づくり助成

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成

① 日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産第5回生物多様性フォーラム

(開催日時) 平成28年3月26日 13時

(会場) 中貴志コミュニケーションセンター

(参加者) 162名

(開催内容)

((調査研究発表))

海南市わんぱくクラブ・もうこさとやまようちえん

県立向陽中学校理科部（孟子不動谷哺乳類痕跡調査結果発表）

和歌山大学システム工学部（孟子不動谷のトンボ相について）

((話題提供))

岡田和久氏（和歌山県庁自然環境室長）

((パネルディスカッション))

コーディネーター

パネラー

湯崎真梨子和歌山大学教授

中島敦司和歌山大学教授

原 祐二和歌山大学准教授

志場久起和歌山NPOセンター副理事長

有本 智比オトープ孟子理事

II、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成

(未来遺産登録地孟子不動谷トンボ相復活&人材育成事業)

(事業目的・概要)

1、 孟子不動谷が、未来遺産登録地となった主要因の一つである孟子不動谷の豊かなトンボ相の保全

2、 県下の国立大学である和歌山大学との協働による若いトンボ類調査員の育成(事業場所)

和歌山県海南市孟子不動谷

(事業の概要)

平成10年2月設立以降孟子不動谷内耕作放棄地を地権者より借り受けていたものの、活用しきれいなくなった耕作放棄地を「夏水冬水田んぼ」的な水辺ビオトープとしての圃場整備を行いました。その結果、平成29年2月、カスミサンショウオ6、ニホンアカガエル75の卵塊の産卵を確認できました。

また、昨年度に引き続き国立大学法人和歌山大学システム工学部環境システム学科1、2年生に募集を頂き、孟子不動谷のトンボ類の現地調査活動と、トンボ類の分類方法の講習会を行いました。研究結果については、平成29年3月26日開催の生物多様性フォーラム席上で発表を行いました。

III、経団連自然保護基金（未来遺産登録地孟子不動谷における放置水田の湿地ビオトープ化）

(事業目的)・平成26年度の経団連自然保護基金事業を契機に発足し継続している和歌

山大学システム工学部生による調査研究活動に地元の小学生・幼稚園児等幼年期の子ども達を巻き込んだ環境教育・里山ふれあい活動として発展させることにより身近な自然に親しみ、生物多様性保全の重要性をしっかりと理解した若い世代の育成に寄与する。

・ビオトープ孟子が地元地権者の皆様より借用している土地のうち、現在活用がなされず、このまま放置すれば樹林化してしまう耕作放棄地約20aを、浅く水が溜まる湿地ビオトープ（なつみず・ふゆみずたんぼ）として創成する。

・平成28年10月1日開催された第27回全国トンボ・市民サミット和歌山大会のエキスカンション地として開放することにより、来場者に孟子不動谷のポテンシャルの高さと、それを維持するためのビオトープ孟子独自の自然保護活動を周知すること。

(事業箇所) 海南市孟子不動谷

① 第27回全国トンボ・市民サミット和歌山大会のエキスカンション地としての活用
(概要説明)

平成28年10月1日、第27回全国トンボ・市民サミット和歌山大会エキスカンションが、日本全国から90名超の参加者を迎え海南市孟子不動谷で開催しました。

・孟子不動谷現地視察会

孟子不動谷の水辺ビオトープ施設の視察を行いました。同日、調査活動を行っていた和歌山大学トンボ調査チームの学生の皆さん

が捕獲した日本（瀬戸内海沿岸地域）特産種のナニワトンボ（とんぼ科）を参加者全員に見てもらったことができ、一同大喜びでした。

・懇親会

現地視察のあと、孟子里山記念館「山案山子」の中で懇親会を行いました。孟子不動谷のトンボ相と、平成22年度日本ユネスコ協会連盟プロジェクト未来遺産登録を機に開始・継続している子ども達の未来遺産運動の内容について説明をさせていただきました。

- ② 湿地性生物保全のための環境整備
- ③ 湿地ビオトープ周辺のトンボ類のモニタリング
- ④ トンボ類・両生類モニタリングチーム継続

IV、花王みんなの森づくり活動（孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト

～伝えよう未来に、広めよう地域に～）

（事業目的）・植樹活動：同会法人が地権者より借用しクヌギ若齢樹を植樹

・環境教育活動：生き物と生き物の関係を理解した森づくり

（事業箇所）海南市孟子不動谷

平成28年3月～平成29年2月 孟子不動谷の哺乳類の痕跡調査（向陽中学）

平成29年3月19日 孟子不動谷にクヌギの植樹（わんぱくA活動日）

平成29年3月26日 第6回生物多様性フォーラム（かがやきホール）

V、里地・里山環境保全推進事業認証団体として登録

平成28年度に施行された「生物多様性と歌山戦略」の中の「里地里山保全」の取り組みの一環として、平成28年11月に施行された「里地・里山環境保全推進事業補助金交付要綱」に則った「里地・里山環境保全推進事業認証団体」としてビオトープ孟子が選出されました。認証団体は、平成28年度（平成28年11月～平成29年3月）から3カ年の間継続されます。

（平成28年度）

初年度は、孟子不動谷内で地権者の皆様に借用している土地のうち耕作放棄地のままで活用していなかったエリアに圃場整備を施し、「なつみず・ふゆみずたんぼ」的は水辺ビオトープを創成する活動と、平成29年3月26日に開催した「生物多様性フォーラム」の運営資金の中で上記した助成金で賄い切れなかった部分を補填する形で助成金額を活用させていただきました。

(3) 指定管理事業

(株)丸山組との業務連携により、海南市わんぱく公園の管理運営業務を行いました。

(業務期間) 平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日

(体制)

顧問 北原敏秀

園長 有本 智

GM 北原実恵子

事務職員 偉士大 郁子

植栽職員 山本昌寛、嶋田 實

NPO 職員 樫尾弘子、土橋雅子、山鷺仁

(業務内容) 公園施設の运营管理 (建物設備管理、植栽管理等)

イベント運営 (定例イベント、自主イベントその他)

わんぱく公園友の会運営

わんぱくクラブ運営

(4) 和歌山県環境学習アドバイザー委託事業 (有本理事)

平成28年4月19日 県立向陽中学校2年生遠足受入

平成28年6月9日 海南市立北野上小学校環境学習受入

平成28年6月15日 和歌山森づくり塾講師

平成28年7月21日 岩出市立岩出小学校ビオトープ作り指導

平成28年8月19日 紀の川市立安楽川小学校水路の生き物調査指導

平成28年8月31日 紀の川市立中貴志小学校水路の生き物調査指導

平成28年9月5日 海南市立北野上小学校田んぼの生き物調査指導

平成28年10月16日 和歌山ユネスコ協会日帰りキャンプ受入

平成28年11月8日 海南市立北野上小学校環境学習受入

平成29年1月9日 「和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウム

VOL-1」講師

平成29年1月30日 和歌山県緑化功労賞審査員として審査依頼

平成29年2月22日 紀の川市立中貴志小学校環境学習

平成29年3月4日 はしもと里山学校調査方針会議出席

平成28年11月、生物多様性と歌山戦略 (平成28年度施行) に付随してできた登録制度「里地・里山環境保全活動団体認証制度」に係る認証地に海南市孟子不動産が選定されたことにより、平成29年度より同制度の承認団体に選定された「はしもと里山学校」の昆虫調査方法を決定する和歌山県自然環境室担当者を伴った会議に出席しました。はしもと里山学校には、定期的に生き物ふれあい体験をする中学生のグループがあるようなので、その中学生の皆さんと一緒にチョウの調査を1年間行い、その調査結果を平成29年度の生物多様性フォーラムで発表することになり、平成29年4月～10月の7回有本理事が現地 (橋本市柱谷地区芋谷) に赴き、チョウの調査を行うことになりました。

(現行決定している調査日程)

・平成29年4月16日 橋本柱谷地区チョウ調査

・平成29年5月14日 橋本柱谷地区チョウ調査

・平成29年6月17日 橋本柱谷地区チヨウ調査

2、決算報告

別添資料を参照してください。

平成28年度決算報告

収入の部

項目		金額
指定管理	わんぱく公園前年度繰越金	51,938
	わんぱく公園運営管理	30,188,000
	わんぱくクラブ等収益金(会員会費・事業金)	178,000
助成金事業	花王みなの森作り活動助成	244,000
	和歌山県28年度里山里山環境保全推進事業補助金	495,200
	あいおいニッセイ同和損保和歌山支部(子供フォーラム助成)	250,000
	経団連補助金	980,000
	地球環境基金 トンボ層保全(田んぼ再生)	2,200,000
その他補助金	日本ユネスコ(未来遺産補助)	0
イベント収入	稲刈り体験	35,000
	エコレッキング	0
	第14回ワケ相撲大会(わんぱく公園)	20,000
	田植え体験会「ダンロップCSR」	20,000
	ソバかり体験会	0
	個人会員40名	120,000
里山生産物	菊炭売上金	250,000
	ソバ打ち体験会	110,000
	無農薬米販売金	155,600
その他	ビオトープ駐車場収入	100,000
	荒糸地区	0
	ログハウス使用料	0
	向陽中学校遠足指導料	0
合計		35,397,738

平成28年度決算報告

支出の部

項目		金額
指定管理	わんぱく公園運営管理費	30,652,476
	わんぱくクラブ員支出(クラブ員月次費用)金	178,000
	28年度わんぱく公園余剰金イベント費	51,938
	花王みんなの森作り活動助成	244,000
受託事業	和歌山県28年度里地里山環境保全推進事業補助金	495,200
	あいおいニッセイ同和損保和歌山支部(子供フォーラム助成)	250,000
	経団連補助金	980,000
	地球環境基金 トンボ層保全(田んぼ再生)	2,200,000
イベント支出		
	田植え	25,000
	わんぱく公園クモ相撲大会	11,000
	稲刈り体験会	5,000
	ソバかり体験会	5,000
	七草かゆ・小豆かゆイベント	20,000
こんにやく座		
	会報 まるたん切手等	9,600
	電気料金	23,500
	電話料金	0
	地域借費用 駐車場6万・農地7件(4000)	88,000
	プロパンガス	
	ITFB手数料	12,000
	建物固定資産税	6,855
	地蔵さん	6,000
	コピ-封筒	22,600
燃料費	ガソリン・軽油	25,000
里山生産物	炭焼き費用	240,000
	そば打ち費用	98,500
	米栽培費用	155,000
	スタッフ・一般参加者・イベント時障害保険	48,912
障害保険	和歌山NPOセンター会費	5,000
その他	テラス整備	
	雑費	3,633
合計		35,862,214
累積損益		-464,476

3、 監査報告

平成 28 年度の監査報告をさせていただきます。

特定非営利活動法人自然回復を試みる会・ビオトープ孟子事務局において平成 28 年度の出納関係の資料を下記日程にて確認したところ、内容について決算報告させていただいた内容と相違ありませんでした。

会計監査日
監査担当

平成 29 年 5 月 1 日
監事 北原実恵子



4、平成29年度事業計画について

1、 未来遺産プロジェクト 和歌山県立向陽中学理科部

今年度は、孟子不動谷の鳥類のラインセンサス法による生息調査を行います。基本1回/月のスパンで行い記録蓄積を行います。年度末及び年度当初には、生物多様性フォーラムでの発表を行います。

2、 法人独自イベント

七草粥・小豆粥

平成29年1月7日 59人参加

ダンロップ田植え体験

平成29年6月11日

今年度は、住友ゴム工業株式会社と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により結成された「チーム エナセーブ未来プロジェクト」の一環として、一般参加者、ダンロップ、日本ユネスコ協会併せて75名が参加され盛大に開催されました。

第17回こがねぐも相撲大会 平成28年7月9日 (於) 海南市わんぱく公園

3、 わんぱく公園イベント

定例イベント 毎週日曜13時 押し花等 外部講師・公園職員

恒例イベント 毎週土日 ウルトラクイズ

毎週土日 じゃんけんぽん

ビンゴゲーム大会

わんぱくクラブ運営

(わんぱくクラブAチーム) 構成員16名

わんぱく公園内で、園内の遊歩道沿いの樹木に名前札を設置したり、公園内の昆虫のスケッチを行います。

(わんぱくクラブBチーム) 構成員26名

平成26年度から新設したチームです。未来遺産登録地・孟子不動谷で自然観察を行い、1年間の活動の感想を「生物多様性フォーラム」で発表することを目的として活動を行います。平成29年度は、コウチュウ類の観察を行っています。

(もうこさとやまようちえん) 構成員16名

平成27年度から新設したチームです。幼稚園児を対象に募集を行い、未来遺産登録地・孟子不動谷で自然観察を行うチームです。身近な自然環境である里山に触れ合い、そこに住む動植物と戯れる経験は、出来る限り幼い時期から始める方が効果が高いため新設しました。

わんぱく友の会運営 構成員78名

今年度は、「タケノコ掘り体験」「桃ジャム作り体験」「しいたけ菌植え」

「正月飾り作り」の4つの体験を行います。

4、 大学、高校との協働事業

和歌山大学システム工学部トンボ調査チーム

今年度の地球環境基金助成はありませんが、大学生のトンボ調査はそのまま継続することになりました。

5、 高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業

平成 29 年当初より、未来遺産登録地・高野山奥ノ院の御廟用黒炭焼きの事業が開始されています。炭焼担当の住野理事をはじめ 10 名の地元住民の方々がチームを編成し対応中で、平成 29 年度は木の国協議会主催の林野庁助成制度に、御廟用黒炭材（クヌギ、アラカシ）の確保を視野に入れた 3 カ年の森林整備の事業を申請中です。

6、 助成金事業

(交付決定分)

- ・平成 29 年度里地・里山環境保全推進事業

平成 28 年 11 月、生物多様性と歌山戦略（平成 28 年度施行）に付随してできた登録制度「里地・里山環境保全活動団体認証制度」に係る認証地に海南市孟子不動産が選定されたことによる事業です。原則として、向陽中学、和歌山大学、わんぱくクラブにより継続中の「未来遺産運動」の運営資金として活用します。

- ・木の国協議会森林・山村多面的機能発揮対策交付金

地域住民のみならず、よりよい地域づくりを作り、森林資源の活用や里山環境の改善を目的に活動することにより、よりよい地域づくりを支援する林野庁の助成制度です。

平成 29 年度の事業として、高野山奥ノ院御廟用黒炭焼き事業を行うチームによる御廟用黒炭材（クヌギ・アラカシ）の確保を視野に入れた 3 カ年の森林整備の事業を申請し採択されました。

(申請中助成事業)

- ・花王みんなの森づくり活動助成（平成 29 年 8 月、助成申請検討中）
- ・あいおいニッセイ同和損保和歌山支部（継続申請は提出済）
- ・子どもゆめ基金（平成 29 年 5 月申請書提出済・未来遺産運動への助成）
- ・赤い羽根募金（平成 29 年 8 月申請開始予定。「ぼん菓子製造機」購入）
- ・トヨタ財団基金（平成 29 年 5 月申請書提出済・未来遺産運動及び水辺ビオトープ創成）

7、 理事会

理事長が適宜理事会を招集します。

8、 実行委員会（役員・スタッフ・会員）

理事長が適宜招集して開催します。

原則として理事会の意味も包含します。

（ただし、理事のみで議決を必要とする事項が発生したときには、理事長が別途理事会を招集します。）

9、 総会

平成 30 年度当初に開催します。

- 5、平成27年度予算案について
別添資料を参照してください。

平成29年度予算案

収入の部

項目		金額
前年度繰越金		
指定管理者	わんぱく公園委託事業費	30,311,000
受託事業	花王みんなの森作り活動助成	申請中
	あいおいニッセイ同和損保和歌山支部	申請中
	子供夢基金	申請中
	赤い羽根募金	申請中
	森林・山村多面的機能発揮対策交付金	992,500
イベント収入	トヨタ財団	申請中
	田植え体験	25,000
	エコトレッキング	20,000
	七草粥・小豆粥	20,000
	個人会員(40名)	120,000
会費		
	駐車場収入	90,000
里山生産物	孟子不動産	200,000
	ソバ打ち体験会	70,000
	生産物販売収入	50,000
	孟子しゅうめい炭	300,000
合計		32,198,500

6、その他

- ・田植え体験時の「早乙女衣装」30着のクラウドファンディングによる購入を計画中

ビオトープ孟子初夏の恒例行事である「田植え体験」が、(公社)日本ユネスコ協会連盟と住友ゴム株式会社(ダンロップ)の協働により形成された「チームエナセーブ未来プロジェクト」の参加により開催するようになり今年度で4年目になります。平成28年度から「棚田むすびの会」の参加が無くなり途絶えてしまった「早乙女衣装による田植え」を復活させ、孟子不動谷の初夏の華やかな風物詩として田植え体験を位置付ける目的で、標記のような計画を検討中です。

(クラウドファンディングとは?)

不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す、群衆 (crowd) と資金調達 (funding) を組み合わせた造語である。ソーシャルファンディングとも呼ばれる。